



激震の中越地震
お見舞い御礼申し上げます。

いよいよ
9月25日
発送

採彩で取り扱っている野菜等を「ごん八」と一緒に発送します。

大好評
500

ワンコインセット

プラス500円で採彩おすすめの季節の野菜等が楽しめます。詳しくは注文用紙をご覧ください。

教科書で管理するイネ作りよりも、共に日に焼け雨に打たれながら同じ時を共有するイネ作りを続けていきたい。見上げれば、はたたく秋祭りの幟(のぼり)旗。次の世代への命(握りのモミ)の引継ぎを約束する代わりを受け取る人の食糧としての米。その豊かな恵みが今年も人々の笑みを誘う。

山並みから日が昇り 日本海に陽が沈み、嵐が吹き荒れる日もあれば水面に越後連山が映るおだやかな風の日もある。記憶も新しい昨年の中越地震、豪雨、川の氾濫と洪水。そしてその対価として、豊饒の土の恵みがある。真夏の旱天(ひでり)、冬の地吹雪は、まるで人を試すかのように襲いかかり、反面、慈しむように春夏秋冬の季節を作り、大地はそれに答えるかのようにならぬ表情を変えてきた。縄文(じょうもん)の昔から

続けられてきたイネ作り。三千年あまりの長く深い歴史の中で、人々は自然や大地と向きあひながら、ただただ豊年万作を祈り、秋祭りに踊り唄う。思い起こせば18の歳からイネ作りを始めて、この秋で34作目。田股引(たももひき)に鎌の格好から田植機と戦車のようなコンバインに時代は急激な変化を遂げ、稲と自分、そして自然という八百万の神々と向き合う姿勢も随分と変わってきたように思う。



'05嘉木 秋祭りののぼり旗

八百万の神々に
豊作祈願。



〈新米コシヒカリ出荷特別号〉

2005年(平成17年)9月15日 木曜日
発行/南坂井ファームクリエイト
発行者/坂井孝一
〒950-1133 新潟市嘉木12
TEL 025-280-4300
FAX 025-280-3400
フリーダイヤル 0120-051858
(おこめはごんばち)
E-mail:sfc@seagreen.ocn.ne.jp
http://www3.ocn.jp/~sfc/

紙面から

農家持ちより市場

採彩

特製の土!あります。

坂井ファームの栽培土

坂井ファーム&採彩関係
採彩の仲間たち

「ごん八」いよいよ出荷



坂井ファーム
農家持ちより市場

採彩

MAP

注目!
採彩の案内板



特製の土! あります。

坂井ファームの栽培土

25kg
¥450

坂井ファームには、「こまつな」と「ごん八」そして「手つき餅」と、それぞれにこだわった農産物がありますが、隠れたヒット商品がこの「坂井ファーム栽培土」です。市販されている土というものは鹿沼土や腐葉土などがありますが、実際の畑の土というものはありません。この土は、私たちがこまつ菜の連続栽培のために良質の堆肥を投入し作り上げてきた栽培土。家庭菜園・プランター栽培やお庭作りに、和芝洋芝の張り替えや養生に、変わった用途ではベットのトイレにも効果は抜群です。



各種有機質肥料たっぷり
プロが作った栽培土です。

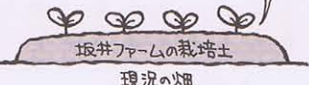
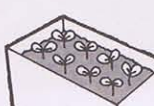
坂井ファームの栽培土を使って野菜を作ろう!

●プランター
そのまま使えて便利!

●家庭菜園
生育後半には、化成肥料か有機質肥料の追肥が効果的

現況の畑の上に
10~15cmくらい盛る

雑草の種が
入っていないので
菜類も安心!



写真は自家養生の和芝に遊ぶ愛犬ラン(6歳)

坂井ファーム & 採彩関係図

農業は産業。食を通して人々を元気に!
熱い心で結ばれた仲間たち



楽しく収穫。農家も顔負けの豊作でした。



お父さんも汗水流しての参加。「男は黙って大根作り」



八十八の手間を体験。田んぼは学校です。



採彩がコンサートホールに早変わり。

採彩直売所ご案内
 営業時間 / 平日 11:00~18:00
 土日祝 10:00~17:00
 定休日 / 火曜日 (祝祭日の場合翌日)
 TEL 025-280-4303
 FAX 025-280-3400

あなたのメールアドレスに旬野菜情報を——
 メールアドレスをお持ちの方は注文用紙のメールアドレス欄にご記入ください。坂井ファームと仲間たちが育てた「旬もの情報」を、担当窪田がいち早く配信いたします。今年も頑張ります! (窪)

●採彩にアクセスしよう●
 saisai@jeans.ocn.ne.jp

採彩の仲間たち 自慢の農産物を納入している生産者を紹介します

山形県朝日町 白田富彦さん 祐子さん

私たちが丹精込めて育てたりんごを、採彩が直接取りに来てくれました。害虫の発生を抑える工夫をし、ボカシをたっぷり与えた健康で甘みのあるりんごを味わってください。

新潟市(旧豊栄市)鳥屋 岩橋寛子さん

自家産の大豆を使って手作りの納豆を作っています。かわい孫の名前から一文字ずつとって「希翔納豆」というんです。孫も納豆が大好きで、おかげでクスク成長しています。

編集後記

●表の写真は採彩の窪田店長です。孝の友であつた彼の父の急死が縁で、採彩へ。将来の自家農業再開準備のため、水田作業修行中。

●イネ倒伏の危機! お気づきですか? 昨年の写真よりはるかにのびて、長さは腰上です。がんばれ、ごん八!!

●今年は稲作の仕事もさせてもらっています。1年目なのでいろいろな発見がありました。来年は近所がビックリするようなイネを作ってください。百姓8代目の血が騒ぐ。(窪田)

粘りと風味に自信があります
もちろん今年も「手つき餅」

チームワークもばっちり!

販売先をご紹介します
 機械ではなく手で作るのには訳があります。昔ながらの方法でしか出せない味があるのです。そしてもうご存じ、この餅は坂井ファームと綱引きチーム「新潟採彩」についています。ゆっくりとていねいに、ひたすら修行僧のように杵をつき続けることで綱引きへの体もできてくるのです。でもまだまだ我々には数倍の力が余っています。ご注文ください。販売店をご紹介します。きっと多くの方々に喜んでいただける、そんな自信があります。

■手つき餅500g(10枚)
 ■(焼くと最高にうまい) 豆もち500g(10枚)

ご希望の方は注文用紙の申し込み欄にご記入ください。
 電話・FAXでの注文もOK。12月15日頃から発送します。